

K U D O N E W S

第33期 事業報告書 自平成15年7月1日 至平成16年6月30日

【第15号】

地域との絆を大切にした
高齢者福祉施設「フローレンスケア」は
「ここち(心地)よさ」を提供しています。



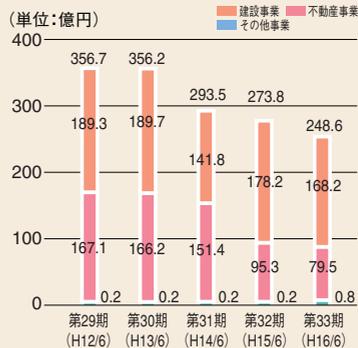
工藤建設株式会社

Financial Highlights

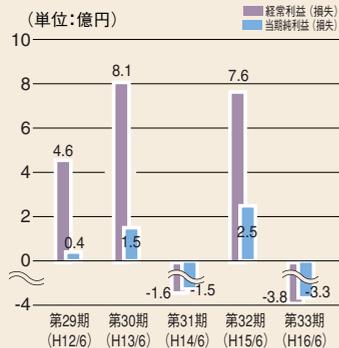
連結財務ハイライト

	第29期 (H12/6)	第30期 (H13/6)	第31期 (H14/6)	第32期 (H15/6)	第33期 (H16/6)
					(単位: 億円)
売上高	356.7	356.2	293.5	273.8	248.6
経常利益 (△経常損失)	4.6	8.1	△1.6	7.6	△3.8
当期純利益 (△当期純損失)	0.4	1.5	△1.5	2.5	△3.3
総資産	290.9	334.8	254.2	240.3	226.4
株主資本	38.5	39.4	36.6	38.1	34.1
					(単位: 円)
■ 1株当たり					
株主資本	298.26	303.53	282.15	293.35	263.08
当期純利益 (△当期純損失)	3.16	11.97	△12.21	19.79	△26.03
配当金	10	10	5	10	10

■ 売上高 (部門別)



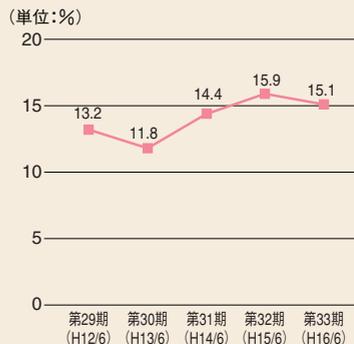
■ 経常利益 (損失) / 当期純利益 (損失)



■ 総資産 / 株主資本



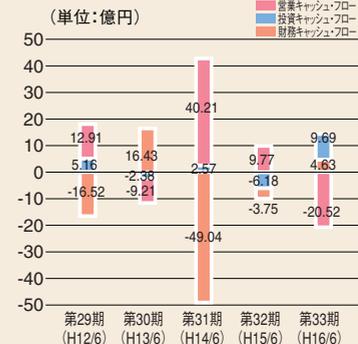
■ 株主資本比率



■ 1株当たり株主資本 / 1株当たり当期純利益 (損失)



■ 連結キャッシュ・フロー



To Our Shareholders

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当社は、第33期会計年度を無事終了することができましたので、株主の皆様へご報告させていただきます。

当期における経営の概況

当期における我が国経済は、輸出及び生産が増加し、個人消費も緩やかな増加に転じるなか、企業収益の大幅な回復などにより、設備投資も増加しました。雇用情勢は改善の兆しが見えるものの、引き続き厳しい状況が続いており、公共投資も引き続き低調に推移しております。

当社が属します建設業界におきましては、住宅建設が引き続き横ばい状態で推移するなか、着工戸数は増加基調となり、底堅さが見られました。一方、不動産業界におきましては、分譲住宅の供給数は増加傾向となりましたが、厳しい価格競争が続きました。

このような情勢のなか当社では、昨年度より開始した「高齢者福祉事業」の第2号施設として、平成16年5月に当社創設の地である横浜市青葉区に「フローレンスケア美しが丘（介護付有料老人ホーム、収容人員60名）」を開設致しました。昨年12月に開設した「フローレンスケアたかつ」に続く介護事業施設として、当社が直営で運営を行っております。さらに、来春には第3号施設として、川崎市宮前区に「フローレンスケアたまブラザー」の開設を予定しております。

また当社の大型地下室付輸入住宅「フローレンスガーデン」は、住宅事業部として、当該商品を販売してから800棟余りの契約をすることが出来ました。

業績とキャッシュ・フローの推移

当期は、分譲マンション等の販売不振を主因とする大きな損失が発生致しました。また、一方では不動産の大型プロジェクトを決算すべく計画しておりましたが、期末に予定していた売買決済が次期へとずれ込んだため当社グループにおける経常利益におきまして3億円余りの損

失を計上し、当期純損失も同様となりました。当社グループとしましては、当該状況を真摯に受け止めており、より一層緻密な経営計画により、収益の確実な計上を目指す所存であります。

当期における当社グループの連結業績としまして、売上高は248億61百万円（対前期比9.2%減）、経常損失は3億82百万円（前期経常利益7億68百万円）、そして、貸倒引当金繰入額1億40百万円を特別損失に計上して、当期純損失3億38百万円（前期純利益2億57百万円）となりました。

これを事業別のセグメントで見ますと、建設事業につきましては、売上高168億26百万円（対前期比5.6%減）、営業利益は9億92百万円（対前期比16.9%減）となりました。不動産事業につきましては、売上高79億53百万円（対前期比16.6%減）、営業損失は1億15百万円（前期営業利益6億34百万円）となりました。また、その他事業につきましては、売上高81百万円（対前期比283.7%増）、営業損失は98百万円（前期営業利益20百万円）となりました。

連結キャッシュ・フローの状況につきましては、たな卸不動産の増加や税金等調整前当期純損失などにより、営業活動によるキャッシュ・フローが20億52百万円マイナス（対前期比30億29百万円減）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは9億69百万円プラス（対前期比15億88百万円増）に、また、長期借入金の増加などにより、財務活動によるキャッシュ・フローは4億63百万円プラス（対前期比8億38百万円増）となっております。

この結果、現金及び現金同等物の当期末残高は、前期末残高と比べて6億19百万円減少し、23億54百万円となりました。

また、当期末残高における有利子負債の総額は、前期末残高に比べて5億37百万円増加し、107億25百万円となりました。

次に当社単独の業績といたしまして、



売上高は211億89百万円（対前期比11.4%減）、経常損失は5億94百万円（前期経常利益4億74百万円）、当期純損失は4億58百万円（前期純利益1億81百万円）となりました。

今後の見通しについて

国内景気の今後の見通しにつきましては、世界経済の回復が国内需要の増加を促すものと見られ、国内景気は回復傾向に向かうものと思われまます。

建設業界におきましては、公共投資の回復は見込まれないものの、企業による民間設備投資と個人住宅需要は、それぞれ堅調に推移すると考えられます。

また、不動産業界におきましては、分譲住宅市場の価格競争は今後も継続すると思われ、厳しい経営環境が今後とも続くことが予想されます。

当社グループでは、新しい経営戦略に基づき、顧客からの信頼と安定的な収益構造を維持できる新しいビジネスモデルの構築を目指して、従来にもまして収益性を重視した営業並びに施工技術・管理能力の向上などを視点においた経営を推進してまいります。また、昨年より開始いたしました「高齢者福祉事業」を、新たな事業基盤として早朝に確立し地域の発展に貢献してまいります。

平成16年9月

代表取締役社長

工藤次郎

Special edition

高齢者福祉事業「フローレンスケア」第二の施設 介護付有料老人ホーム 『フローレンスケア美しが丘』がオープン。

当社では今年5月、横浜市青葉区内の高級住宅街の一角に、高齢者福祉事業の一環として、介護付有料老人ホーム「フローレンスケア美しが丘」をオープンしました。これは、昨年オープンした「フローレンスケアたかつ」に続く第二のプロジェクトで、“ひとり一人の心地よさを追求する”ことを原点に、ご入居者の方々に温かな癒しの場と、思いやりの真心をご提供する高齢者向けの福祉施設です。



フローレンスケア



都市と豊かな自然が調和する 好立地に位置

「フローレンスケア美しが丘」は、何よりも心と体を癒してくれる豊かな緑と、美しい自然が多く残る横浜市青葉区美しが丘に建てられています。最寄り駅となる東急田園都市線の「たまプラーザ駅」と「あざみ野駅」は、都心はもちろん横浜からのアクセスも良いことから、通勤通学に便利なベッドタウンとしても有名な所です。

駅周辺は、都市と自然が調和する街並みが形成され、春の桜や初夏の新緑といった季節を身近に感じながらの散策や、おしゃれな街でのショッピングなども気軽に楽しめる立地の良さから、多くの人が住んでみたいと考える人気の高いエリアです。



ゆったりとくつろげる専用居室



各フロアにイメージカラーを 採用した設計コンセプト

地上3階建ての「フローレンスケア美しが丘」の設計コンセプトは1階を“水”、2階を“大地”、3階を“森”のイメージとし、各フロアをそれぞれ快適空間とすることでした。

水をイメージさせる青を基調にした1階は、健康な生活をバックアップする健康管理室、心身ともに心からリラックスできる最新の入浴設備など、毎日の暮らしを安心して過ごしていただくための設備を配置。水の流れのような心地よさをご提供するフロアとしました。

大地をイメージさせる赤を基調にした2階は、痴呆の方の生体リズムの維持や回復を図れるよう、光の量や色で屋内でも昼夜変化を体感できる最新の照明設備などを設置。大地のぬくもりのような心地よさをご提供するフロアとしました。

森をイメージさせる緑を基調にした3階は、家庭での生活と同じアットホームな雰囲気のある広々とした居心地のよい居室と、四季折々の楽しいイベントやレクリエーションが行われる多目的リビングなどを配置。森に包まれるような心地よい空間をご提供するフロアとしました。

また、建物中央には、3階まで吹き抜けになっている滝の流れる中庭を配置。施設の屋内外を問わず、ご入居の方すべてが、やさしい自然に抱かれ、心地よい毎日を過ごしていただけるよう細心の配慮をしています。

専属スタッフと地域医療機関で 万全の介護を実践

「フローレンスケア美しが丘」では、各種の資格を保有し、十分な介護研修を受けたスタッフが24時間体制で介護にあたっています。

日常生活では、専門スタッフによるリハビリ訓練はもちろん、介護・看護スタッフによる外出援助など、ご入居の方のADL(日常生活動作)の維持・向上をさり気ない心遣いでお手伝いします。

また、周辺地域の医療施設との連携、医師による定期検診や医療相談、さらに病状によっては適切な医療機関へのご紹介など、入居者の方それぞれに合った万全の介護、医療体制を整えています。



最新の入浴設備を備えた
明るく清潔な浴室

設備面では、ゆったりとくつろげる約18㎡の居室をはじめ、介護用ベッドやチェスト、エアコン、洗面所、トイレのほか、ナースコールや防災設備も完備するなど、多くの高齢者施設を手掛けてきた当社のノウハウが、さまざまに生かされています。当社では今後とも、横浜市や川崎市を中心とした首都圏にグループホームや有料老人ホームを建設し、「フローレンスケア(高齢者福祉事業)」の展開を目指しています。



明るくさわやかなスタッフ



広々とした開放的な食堂兼談話室

Financial Data

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表 (平成16年6月30日現在)

資産の部 (科目)	当連結会計年度 (百万円)	前連結会計年度 (百万円)
流動資産	13,862	15,634
現金預金	2,694	4,306
受取手形・完成工事未収入金等	1,249	2,171
販売用不動産	1,409	773
未成工事支出金	2,200	3,024
不動産事業支出金	4,753	4,196
その他棚卸資産	14	12
短期貸付金	613	645
繰延税金資産	526	186
その他流動資産	460	371
貸倒引当金	△60	△54
固定資産	8,786	8,403
有形固定資産	4,635	4,754
建物・構築物	3,374	3,302
土地	2,681	2,763
その他有形固定資産	201	191
減価償却累計額	△1,620	△1,503
無形固定資産	55	23
投資その他の資産	4,095	3,625
投資有価証券	310	213
長期貸付金	387	346
差入保証金	2,756	2,740
破産更生債権等	12	17
繰延税金資産	47	89
その他投資等	911	429
貸倒引当金	△330	△211
資産合計	22,649	24,037

負債の部 (科目)	当連結会計年度 (百万円)	前連結会計年度 (百万円)
流動負債	14,327	16,755
支払手形・工事未払金等	2,705	4,229
短期借入金	7,591	8,235
未成工事受入金	3,065	3,113
不動産事業受入金	20	47
繰延税金負債	0	—
完成工事補償引当金	74	62
賞与引当金	105	135
その他流動負債	764	931
固定負債	4,790	3,468
社債	1,150	1,050
長期借入金	1,984	902
預り保証金	1,402	1,466
長期預り金	200	—
退職給付引当金	52	49
繰延税金負債	0	0
負債合計	19,118	20,224
少数株主持分		
少数株主持分	111	—
資本の部		
資本金	867	867
資本剰余金	549	549
利益剰余金	2,000	2,468
株式等評価差額金	84	9
自己株式	△82	△81
資本合計	3,419	3,813
負債、少数株主持分及び資本合計	22,649	24,037

※記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書（自平成15年7月1日 至平成16年6月30日）

	当連結会計年度	前連結会計年度
(科 目)	(百万円)	(百万円)
売上高	24,861	27,386
完成工事高	16,826	17,825
不動産事業等売上高	8,034	9,560
売上原価	22,634	24,189
完成工事原価	15,037	15,755
不動産事業等売上原価	7,596	8,434
売上総利益	2,226	3,196
完成工事総利益	1,789	2,070
不動産事業等総利益	437	1,125
販売費及び一般管理費	2,195	2,088
営業利益	31	1,107
営業外収益	32	19
受取利息	21	9
受取配当金	2	2
雑収入	9	7
営業外費用	446	357
支払利息	415	308
支払手数料	19	29
雑支出	11	20
経常利益(△経常損失)	△382	768
特別利益	26	—
固定資産売却益	2	—
賞与引当金戻入益	17	—
持分変動利益	5	—
その他特別利益	0	—
特別損失	187	233
固定資産売却損	3	2
固定資産除却損	2	17
投資有価証券評価損	—	34
過年度工事補償費	7	3
貸倒引当金繰入額	140	—
役員退職慰労金	7	—
会員権評価損	—	4
関係会社株式売却損	24	155
その他特別損失	1	15
税金等調整前当期純利益(△損失)	△544	534
法人税、住民税及び事業税	143	182
法人税等調整額	△345	94
少数株主損失	4	—
当期純利益(△当期純損失)	△338	257

※記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 連結剰余金計算書

	当連結会計年度	前連結会計年度
(科 目)	(百万円)	(百万円)
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	549	549
資本剰余金期末残高	549	549
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	2,468	2,308
利益剰余金増加高		
当期純利益(△純損失)	△338	257
利益剰余金減少高		
株主配当金	129	97
利益剰余金期末残高	2,000	2,468

※記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

	当連結会計年度	前連結会計年度
(科 目)	(百万円)	(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,052	977
投資活動によるキャッシュ・フロー	969	△618
財務活動によるキャッシュ・フロー	463	△375
現金及び現金同等物の減少額	619	16
現金及び現金同等物の期首残高	2,974	2,990
現金及び現金同等物の期末残高	2,354	2,974

※記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 事業の種類別セグメント情報

前連結会計年度（自平成14年7月1日 至平成15年6月30日）

(科 目)	建設事業				不動産事業		その他事業		計	消去又は全社	連 結
	建設事業	不動産事業	その他事業	計	消去又は全社	連 結					
	(百万円)										
売上高及び営業損益売上高											
外部顧客に対する売上高	17,825	9,538	21	27,386	—	27,386					
セグメント間の内部売上高又は振替高	73	15	—	89	(89)	—					
計	17,899	9,554	21	27,475	(89)	27,386					
営業費用	16,704	8,920	1	25,625	653	26,278					
営業利益	1,195	634	20	1,850	(743)	1,107					
資産、減価償却費及び資本的支出											
資産	4,967	11,892	27	16,887	7,149	24,037					
減価償却費	9	86	—	96	40	136					
資本的支出	21	4	—	25	8	34					

当連結会計年度（自平成15年7月1日 至平成16年6月30日）

(科 目)	建設事業				不動産事業		その他事業		計	消去又は全社	連 結
	建設事業	不動産事業	その他事業	計	消去又は全社	連 結					
	(百万円)										
売上高及び営業損益売上高											
外部顧客に対する売上高	16,826	7,953	81	24,861	—	24,861					
セグメント間の内部売上高又は振替高	359	12	—	372	(372)	—					
計	17,186	7,966	81	25,233	(372)	24,861					
営業費用	16,193	8,081	179	24,454	375	24,829					
営業利益(営業損失)	992	(115)	(98)	779	(748)	31					
資産、減価償却費及び資本的支出											
資産	3,656	12,605	107	16,369	6,279	22,649					
減価償却費	13	83	0	97	39	137					
資本的支出	10	130	3	144	13	158					

※記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(注)1 事業区分は、内部管理上採用している区分であります。

2 各事業区分に属する主な事業内容

- (1) 建設事業：建築・土木その他建設工事全般に関する事業
- (2) 不動産事業：マンション分譲、不動産売買、賃貸に関する事業
- (3) その他事業：高齢者福祉事業、保険代理店業

Financial Data

単独財務諸表

■ 貸借対照表 (平成16年6月30日現在)

資産の部	当期	前期(参考)
(科目)	(百万円)	(百万円)
流動資産	12,183	13,995
現金預金	1,568	3,283
受取手形	—	6
完成工事未収入金	686	1,156
不動産事業未収入金	452	787
販売用不動産	1,409	773
未成工事支出金	2,046	2,783
不動産事業支出金	4,572	4,168
材料貯蔵品	13	12
短期貸付金	81	75
関係会社短期貸付金	495	508
前払費用	246	223
繰延税金資産	509	184
その他流動資産	158	85
貸倒引当金	△57	△53
固定資産	8,430	8,328
有形固定資産	4,405	4,381
建物・構築物	1,861	1,873
工具・器具・備品	57	59
土地	2,486	2,449
無形固定資産	15	15
電話加入権	15	15
投資その他の資産	4,008	3,930
投資有価証券	276	160
関係会社株式	64	387
出資金	429	13
関係会社出資金	—	55
長期貸付金	350	337
株主・役員及び従業員貸付金	4	5
関係会社長期貸付金	5	—
長期前払費用	8	7
差入保証金	2,703	2,688
会員権等	132	157
破産更生債権等	5	7
繰延税金資産	47	89
その他投資その他の資産	311	230
貸倒引当金	△329	△211
資産合計	20,613	22,323

負債の部	当期	前期(参考)
(科目)	(百万円)	(百万円)
流動負債	12,914	15,241
支払手形	843	2,004
工事未払金	1,457	1,571
不動産事業未払金	46	102
短期借入金	5,562	6,363
1年以内返済予定長期借入金	1,978	1,790
未払金	103	149
未払法人税等	3	145
未払費用	73	71
未成工事受入金	2,629	2,773
不動産事業受入金	22	48
預り金	36	59
完成工事補償引当金	72	61
賞与引当金	75	94
その他流動負債	7	4
固定負債	4,494	3,358
社債	1,150	1,050
長期借入金	1,712	811
預り保証金	1,385	1,453
長期預り金	200	—
退職給付引当金	47	43
負債合計	17,408	18,599

資本の部	当期	前期(参考)
資本金	867	867
資本剰余金		
資本準備金	549	549
資本剰余金合計	549	549
利益剰余金		
利益準備金	149	149
任意積立金	1,501	1,501
当期末処分利益	140	728
利益剰余金合計	1,790	2,378
その他有価証券評価差額金	79	9
自己株式	△82	△81
資本合計	3,204	3,723
負債・資本合計	20,613	22,323

※記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 損益計算書（自 平成15年7月1日 至 平成16年6月30日）

	当期	前期（参考）
（科 目）	（百万円）	（百万円）
経常損益の部		
営業損益		
売上高	21,189	23,904
完成工事高	14,490	15,553
不動産事業売上高	6,698	8,351
売上原価	20,239	21,931
完成工事原価	13,290	14,062
不動産事業売上原価	6,948	7,869
売上総利益	950	1,972
完成工事総利益	1,200	1,490
不動産事業総利益(△損失)	△250	482
販売費及び一般管理費	1,169	1,166
営業利益（△営業損失）	△219	806
営業外損益		
営業外収益	60	22
受取利息	14	14
受取配当金	39	2
その他営業外収益	6	5
営業外費用	435	354
支払利息割引料	382	284
社債利息	23	25
貸倒引当金繰入額	3	4
その他営業外費用	25	39
経常利益（△経常損失）	△594	474
特別損益の部		
特別利益	—	—
特別損失	148	52
固定資産除却損	—	13
投資有価証券評価損	—	34
貸倒引当金繰入額	140	—
会員権評価損	—	4
その他特別損失	8	—
税引前当期純利益(△税引前当期純損失)	△742	422
法人税、住民税及び事業税	43	145
法人税等調整額	△328	96
当期純利益(△当期純損失)	△458	181
前期繰越利益	663	612
中間配当額	64	65
当期未処分利益	140	728

※記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

■ 利益処分

	当期	前期（参考）
（科 目）	（百万円）	（百万円）
当期未処分利益	140	728
任意積立金取崩額		
別途積立金取崩額	300	—
合 計	440	728
利益処分類		
株主配当金	64	64
計	64	64
次期繰越利益	375	663

(注) 平成16年3月18日に、64,996,775円（1株につき5円）の中間配当を実施いたしました。

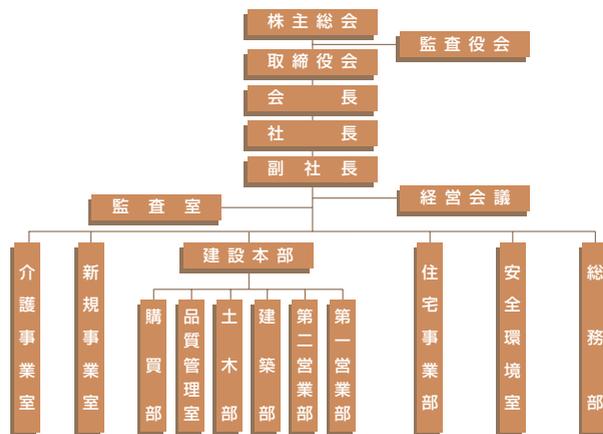
■ 会社概要 (平成16年6月30日現在)

商号 工藤建設株式会社
 設立 昭和46年7月1日
 代表者の氏名 工藤 次郎
 決算期 毎年6月30日
 従業員数 182名（男子142名、女子40名）

事業所

本社 神奈川県横浜市青葉区新石川4-33-10
 東京支店 東京都港区浜松町2-1-16(第3粕谷ビル)
 ※厚木支店 神奈川県厚木市妻田北2-14-8(グランデージ厚木1401号)
 多摩営業所 東京都町田市南大谷1327-153
 県央営業所 神奈川県海老名市中新田1526
 大和営業所 神奈川県大和市中央5-13-5
 相模原営業所 神奈川県相模原市上鶴間148-3
 戸塚営業所 神奈川県横浜市戸塚区名瀬町2189-1(プロデュースヨコハマ内)
 ※)厚木支店は、平成16年7月31日付で廃止しました。

■ 組織図 (平成16年7月1日現在)



■ 役員及び執行役員

取締役会長 工藤 五三
 代表取締役社長 工藤 次郎
 代表取締役副社長 工藤 英司
 取締役 工藤 隆晃 (建設本部統括本部長)
 取締役 遠山 悌二郎
 常勤監査役 阿久津 治 男
 監査役 八重沢 知 正
 監査役 奥原 章 男
 常務執行役員 神田 良 雄
 執行役員 石田 米 治 (第一営業部長)
 執行役員 前田 義 仁 (総務部長)
 執行役員 藤井 研 児 (建設本部長)
 執行役員 砂邊 一 男
 執行役員 小坂橋 洋 之 (住宅事業部長)

■ 連結子会社の状況 (平成16年6月30日現在)

会社名	資本金 (百万円)	議決権比率 (%)	主要な事業内容
(株)日建企画	50	40	建物総合管理業、不動産の売買・賃貸・仲介及び管理業、各種建設工事業、電気設備工事業、損害保険の代理店業他
(株)サンビルド	40	40	分譲マンションに関する建物総合管理業他
(株)東洋リース	10	40	建築機械及び建築資材のリース業並びにレンタル業、とび工事業
(株)みらいテクノハウス	50	40	工務店経営のマネジメント及びコンサルタント業務 建築物の構造、工法等に関する技術開発等

(注)1 グループとしての効率的な経営を行うことを目的として各社の資本金金額及び議決権比率を、平成16年6月に増資、株式消却及び株式譲渡又は第三者割当増資により変更し子会社の再編を実施しております。
 2 (株)東洋リースは、平成16年5月に(有)東洋リースを組織変更しました。

Investor Information

株式情報 (平成16年6月30日現在)

■ 株式の状況

会社が発行する株式の総数 44,000,000株

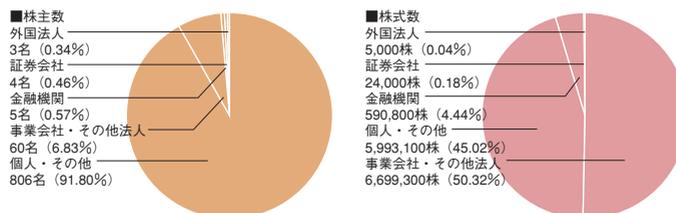
発行済株式の総数 13,312,200株

株主数 878名

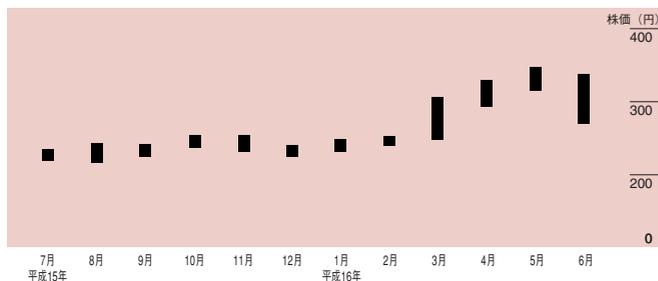
■ 大株主

株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
株式会社トップ	5,720	44.29
工藤五三	1,080	8.36
工藤英司	559	4.33
工藤隆司	558	4.32
株式会社横浜銀行	391	3.03
工藤次郎	370	2.86
工藤建設株式会社	315	2.44
福岡地所株式会社	204	1.58
八重沢知正	185	1.43
神田良雄	131	1.01

■ 所有者区別株式分布状況



■ 株価チャート



株主メモ

決算期 毎年6月30日
定時株主総会 毎年9月
基準日 毎年6月30日
その他必要ある場合は、あらかじめ公告致します。

利益配当金 毎年6月30日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載または記録された株主(実質株主を含む)または登録質権者にお支払い致します。

中間配当金 取締役会の決議により、中間配当を実施する場合は、毎年12月31日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載または記録された株主(実質株主を含む)または登録質権者にお支払い致します。

名義書換代理人 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所 〒100-8212
(郵便物送付先) 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
(電話お問合せ先) 三菱信託銀行株式会社
同取次所 〒171-8508
東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
三菱信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-707-696(フリーダイヤル)
三菱信託銀行株式会社 全国各支店
日本経済新聞

入居される方に安心と心地よさをご提供する 介護付有料老人ホーム「フローレンスケア美しが丘」

「フローレンスケア美しが丘」は、入居者の誰もが笑顔あふれ、安心できる介護を受けられる介護付有料老人ホーム。地域に根差した総合生活産業企業として、多くの高齢者関連施設の建築を手掛けてきた工藤建設ならではの信頼と実績が、恵まれた施設環境の確保をはじめ、地元医療機関との緊密な連携による確かな介護、入居者に安心と「ここち(心地)よさ」を提供する心暖まる運営を実現しています。



Florencecare Utsukushigaoka

フリーダイヤル 0120-535-910 ホームページ <http://www.good-care.jp/>

ホームページへのアクセスを
お待ちしております。

情報満載！

工藤建設のWEBサイトは、お客様とのコミュニケーションのコアとして、充実した情報を提供。物件の紹介・販売にも大きな役割を果たしています。

<http://www.kudo.co.jp/>

